

発表①



「モンゴルにおける読解教育の現状」

E. BATJARGAL
モンゴル国立大学

今回の日本語教育シンポジウムのテーマを「読解」に決定したのは、日本語能力試験で不合格になる原因が「読解」での得点が低いからではないかという仮説から始まった。そこで、日本語能力試験の合否成績から分析した結果、モンゴル人の受験者の読解能力が他の科目より一番低いことが分かった。日本語教師会に 2014 年度から 2016 年度までの日本語能力試験の合否成績一覧表があり、2014 年度だけが科目ごとの成績がちゃんと記載されているため不十分の分析ではあるが、2014 年度の成績からまとめた。2015・2016 年度の成績一覧表は、他の国で個人情報が出てしまっていることから合否だけの情報が載っていて、成績の詳細がない。2014 年度の成績から分析した結果は下記のとおりである。

	受験者数	合格者数	不合格者数
N1	119 名	40 名	59 名
N2	223 名	63 名	160 名
N3	268 名	80 名	188 名

科目ごとの受験者の平均成績

	N1	N2	N3
言語知識	32.66	24.37	37.54
読解	23.85	20.26	35.11
聴解	27.37	23.48	35.01

この平均成績から見ると次のことが言える。

- ・ N1～N3 のどのレベルにおいても 読解の得点が低い
- ・ 同じレベルの中で読解得点数平均が最も低い
- ・ どのレベルにおいても読解→言語知識→聴解と順になっている
- ・ どのレベルにおいても読解点数がもっとよかったら合格者数がもっと増えるに違いない
- ・ 読解が最も困難である
- ・ N1 になっても読解が最も困難なまま
- ・ モンゴルの読解が最も困難である原因を探る研究

➡ オユンゲレル先生の(2015)のケーススタディーでは、日本語以前の問題である、つまり母語教育における読解の教育に焦点を向ける必要とある。対策として、日本語教育における日本語能力試験向けの読解対策の見直しが必要と考える。

日本語能力試験の成績からだけではなく、2016年度の日本語能力試験の結果をとりよせた受験者にアンケート調査をした。(アンケートに92名が協力)

アンケート調査の内容は下記のとおりである。

1. 日本語能力試験を受験した回数
 - a) 1回 b) 2回 c) 3回 d)回
2. 日本語能力試験の問題のうち一番難しかったのはどれですか。
 - a) 文字・語彙・文法 b) 読解 c) 聴解
3. 読解に○をつけた方にお尋ねします。読解問題の何が難しかったですか。
 - a) 内容が難しかった
 - b) 漢字が難しかった
 - c) 質問が分からなかった
 - d) 時間が足りなかった
 - e) その他

日本語能力試験を受験した回数は

- | | |
|--------------|-----|
| a) 1回と答えた受験者 | 39名 |
| b) 2回と答えた受験者 | 39名 |
| c) 3回と答えた受験者 | 7名 |
| d) 4回以上 | 7名 |

日本語能力試験の問題のうち一番難しかったのはどれですか。

- | | |
|-------------|-----|
| a) 文字・語彙・文法 | 34名 |
| b) 読解 | 43名 |
| c) 聴解 | 15名 |

- ・ アンケート調査に協力した受験者の殆どが読解が難しかったと回答したのも日本語能力試験の結果と同様
- ・ 日本語能力試験を始めて受験する受験者には、他の問題より読解が一番難しい。
- ・ 受験回数が増えるにつれ読解問題ではなく、他の問題が難しくなる。
- ・ それは、読解問題の解答の仕方をだんだん覚え、読解問題に対応できるよう勉強しているからであろう。

結論

- ・ 読解能力は日本語学習者にとって、これから欠かせない課題であり、読解能力を身につけることにより翻訳をはじめ、すべての授業に繋がる。ですから日本語能力試験の読解問題に解答するためのだけの教育ではなく、モンゴル人の読解能力をアップさせる教育を目指すべきであろう。

このようなことから、今回のシンポジウムのテーマもモンゴル人の読解能力を向上させるためにモンゴル日本語教師会運営委員会で話され決定したものである。